

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	26	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 王寺町クリエイトクリーンサークル(CCC)との連携 (2) 交通安全標識の作製
教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい	「生徒会活動」に相当。 (1) 地域と連携した取組を行うことで奉仕の精神を養う。 (2) 地域の中学生と協働作業を行い、交通安全の意識を高め、地域との絆を深める
連携・協働相手	(1) 王寺町CCC、王寺町危機管理室 (2) 王寺北義務教育学校
地域と共有している 目標・課題等	(1) 王寺町CCCとの連携により、地域環境の向上と町民の健康と快適な生活確保に寄与する。 (2) 地域の交通安全事業に参加することで、交通事故防止の地域安全に貢献をする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 王寺町CCCと連携し、葛下川周辺や通学路・周辺地域の清掃する活動を通じて、ボランティア精神を高めることを目的として地域貢献活動を行った。新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことで参加機会も増え、地域の活性化に貢献していると感じられる取組となった。</p> <p>(2) 王寺町危機管理室・王寺北義務教育学校との協働により「交通安全標識」の製作を行った。児童生徒の飛び出し事故の多い地点に協働で製作した標識を設置し、事故の防止に貢献した。</p>	

2. 事業の成果と課題

	<p>(1) 清掃活動を通して、地域に貢献できる場面が増え、学ぶことも多かった。学習活動や部活動など、学校行事との兼ね合いの中で、多くの生徒が参加できるように計画を立てることが課題である。それぞれの機会を大切にして、「量より質」、生徒一人一人が地域の活性化に貢献していると感じるような取組としたい。</p> <p>(2) 「交通安全標識」の製作では、通学路の飛び出し事故の起こりやすい地点に設置することで、交通安全に役立ち、王寺北義務教育学校と連携することで「地域貢献」ができていたという自己肯定感の醸成につながった。時間的な制約がある中での連携が課題であるが、これまでの取組を大切にした上で、地域の期待・要請に応えることと学校側から地域への発信することの両立を図りたい。</p>
--	--

